

【昨日の市況概要】				公示仲値	149.44
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.61	1.0868	162.55	1.3052	0.6714
SYD-NY High	150.88	1.0871	163.12	1.3058	0.6722
SYD-NY Low	149.09	1.0811	162.06	1.2978	0.6652
NY 5:00 PM	150.82	1.0814	163.08	1.2984	0.6659
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,931.60	▲ 344.31	日本2年債	0.4300%	0.0000%
NASDAQ	18,540.01	50.45	日本10年債	0.9500%	▲0.0200%
S&P	5,853.98	▲ 10.69	米国2年債	4.0307%	0.0813%
日経平均	38,954.60	▲ 27.15	米国5年債	3.9839%	0.1049%
TOPIX	2,679.91	▲ 9.07	米国10年債	4.1946%	0.1128%
シカゴ日経先物	39,120.00	▲ 150.00	独10年債	2.2770%	0.0950%
ロンドンFT	8,318.24	▲ 40.01	英10年債	4.1375%	0.0820%
DAX	19,461.19	▲ 196.18	豪10年債	4.2990%	▲0.0110%
ハンセン指数	20,478.46	▲ 325.65	USDJPY 1M Vol	11.92%	0.43%
上海総合	3,268.11	6.55	USDJPY 3M Vol	10.93%	0.10%
NY金	2,738.90	8.90	USDJPY 6M Vol	10.69%	▲0.04%
WTI	70.04	1.35	USDJPY 1M 25RR	▲0.80%	Yen Call Over
CRB指数	281.07	1.52	EURJPY 3M Vol	9.86%	0.05%
ドルインデックス	104.01	0.52	EURJPY 6M Vol	9.97%	▲0.01%

東京	東京時間ドル/円は、149.61レベルでオープン。午前中はドルが弱含み、オセアニア通貨とともに円が買われ、一時149.09をつける。午後は米金利の上昇と共にドル円が上昇し、149.51レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.51レベルでオープン。米大統領選挙に向けたヘッジの継続か、米金利の上昇を伴って一時大台を超えて150.09円まで上昇し、結局149.94レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。利益確定の売り等が先行し、149.09まで下落。しかし、その後は米金利の上昇に伴った買いが優勢となり、徐々に値を戻し149.94でNYオープン。本日は手がかりが乏しい中、午前中はローガン・ダラス連銀総裁の「利下げは慎重なペースで実施を」等との発言を受け、米金利が一段と上昇する中、150.50付近まで上昇。午後は米金利高を背景に、ドル買いの流れが続き、終盤には150.88まで上値を伸ばし、その後150.82レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。米金利の上昇や、独9月PPI(前月比)が予想以上に減速している結果を受け、ユーロドルはじり安で推移し、1.0856でNYオープン。午前中は米金利が上昇幅を拡大する動きが上値を抑え、1.0820近辺まで下落。午後は米金利が高水準で推移する展開が一段の重しとなり、日中安値の1.0811まで値を下げ、その後1.0814でクロス。

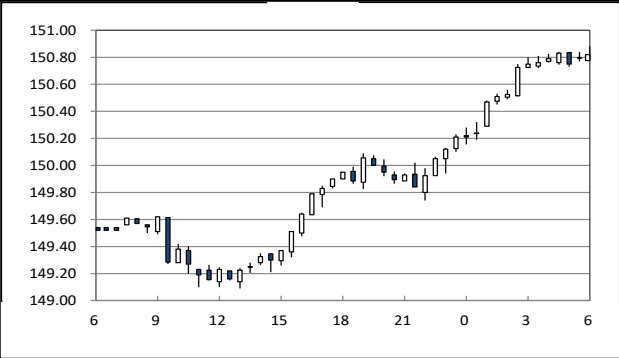
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月21日	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	9月 -0.5%/-1.4%	-0.2%/-1.1%
	21:55	米 ローガン・ダラス連銀総裁 講演	利下げは慎重なペースで実施を	
10月22日	02:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	緩やかなペースでの利下げを支持する	

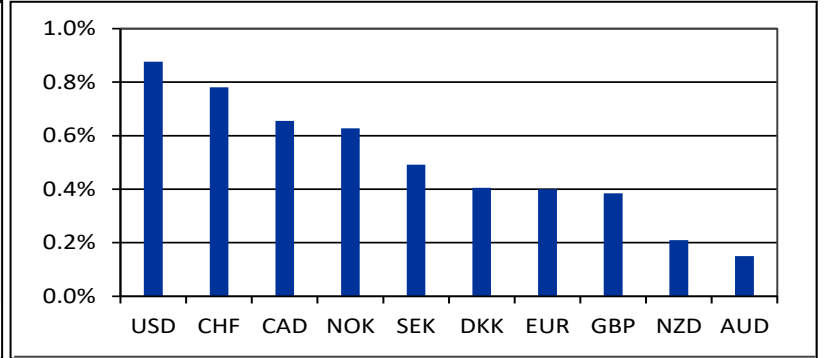
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月22日	22:05	欧 ノット・オランダ中銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.50-151.50	1.0780-1.0850	162.50-163.50

【マーケット・インプレッション】

昨日は米国時間からドル高の流れが加速。ドル円は150円台を回復したほか、ECB高官のハト派発言もありユーロも1.0811まで下落、ドルインデックスは7月FOMC前の水準まで戻している。本日のドル円は底堅い推移を予想。150円の節目を超えた高値警戒感から先週末150円を割り込んだものの、昨日は全般的なドル買いに押され再び150円台に乗せた。他のG10通貨でもドル高が強まっており、背景にはFed高官発言を受けた緩やかな利下げへの期待、他先進国中銀のハト派化、大統領選前にトランプ勝利への警戒が高まりつつあることなどがあろう。本日は目立った経済指標の公表は予定されておらず、ドル高トレンドは変わりにくいか。しっかりと150円台を定着できるかに注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。